

エリア放送の制度化と 今後の検討スケジュールについて

情報流通行政局

平成24年5月

1. ソフト(放送業務) 関係

○放送の種類は、現行法制上、最も規律の緩い届出一般放送。事業開始は届出のみで可。

- ・スタジアムや空港等の限られたエリア(受信エリアの目安は約1km程度)における、特定のニーズを満たすものであるため、社会的影響は限定的であり、柔軟な業務開始、運用を可能とする。
- ・但し、臨時かつ一時的な利用の場合や、微弱な電波を使用(受信エリアの目安は数m)する場合は、届出も不要(放送法の適用除外)。

2. ハード(無線局) 関係

○混信防止を図る観点から免許制とする。

○地上デジタル放送の周波数帯を活用することから、地上デジタル放送(将来設置されるものも含む)に混信を与えてはならない。

- ・地上デジタル放送からの混信に対しても保護を要求してはならない。

○免許期間は1年(ただし、平成24年度中における免許の有効期間は平成25年3月末まで)。

- ・平成25年度以降における免許の有効期間については、ホワイトスペースを利用する他システムとの共用に関する具体的検討の結果を踏まえ、別途、見直す予定。
- ・免許審査は、申請順(先願主義)。

※総務省は、使用可能な周波数の目安となる表(チャンネルスペースマップ)を作成し、参入希望者は、それをもとに周波数を選定。

放送法等の規律(全体像)

規律の種類		基幹放送事業者	一般放送事業者		法の適用除外
			登録	届出	
		地上TV ラジオ(AM、FM) BS、東経110度CS	東経124/8度CS CATV(引込端子501以上)	有線ラジオ CATV(引込端子501未満)	(※)
ソフト関係 (放送法)	番組準則	○	○	○	×
	字幕・解説番組の努力義務 (テレビジョン放送のみ)	○	○	○	×
	番組基準の制定	○	○	×	×
	放送番組審議機関の設置等	○	○	×	×
	訂正放送・取消放送制度	○	○	○	×
	放送番組の保存義務	○	○	×	×
	再放送(再放送同意)	○	○	○	×
	広告放送の識別の措置義務	○	○	×	×
	候補者放送(同等条件の放送義務)	○	○	○	×
	番組調和原則	○(一部除く)	×	×	×
	教育番組の対象の明確化	○			
	番組種別の報告・公表	○(一部除く)			
	災害放送	○			
	学校向け放送における広告	○			
	放送番組の供給に関する協定	○			
ハード関係 (電波法)	免許の取得	○	○	○	×
					(微弱電波の場合)

(※)放送法全体が適用除外となる放送は、次のとおり。

- ①臨時かつ一時の目的のために行われる一般放送
- ②微弱な電波を用いて行われる放送

等

エリア放送に係る制度整備の概要(技術関係)

- ホワйтスペースを活用したエリア放送型システムに関する技術的条件についての情報通信審議会一部答申(平成24年1月)を受け、無線設備規則に技術基準を規定。
- 既存のワンセグ携帯等で受信できる電波を送信。

電波の形態	占有周波数帯幅	主な用途
	5.7MHz	エリア限定、高精細度放送などのサービスとワンセグ放送を同時収容。
	5.7MHz	エリア限定、ワンセグ放送。(注) ※中央セグメント以外Null
	468kHz	エリア限定、ワンセグ放送。 ※中央セグメントのみ

注： Null付ワンセグ型は実験試験局で多く利用されているが、将来は、複数のワンセグを束ねる等、周波数をより有効に利用する電波の形態に転換していく必要があるため、暫定的なものとして利用。

- 空中線電力は10mW(1セグ当たり)以下。
 - ・ホワйтスペース特区の実験結果を踏まえ、10mW(1セグ当たり)以下(受信エリアの目安は約1km程度)。
- 地デジを混信から守りつつ、送信装置の製造を容易にするとともに、低廉化が可能な条件を設定。
 - ・周波数や空中線電力の許容偏差等については、より小電力のものは条件を緩和。
 - ・地デジの隣接チャンネルを使用しないことを前提としたスペクトルマスクを設定。
- 技術基準適合証明を受けた装置を用いることで、落成検査や無線従事者が不要。

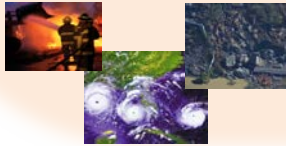
- ホワイトスペースを利用するシステムとして、現状、以下のシステム(※)が想定されている。
 - 平成24年度において、これらのシステムがホワイトスペースを共用するための技術面、運用面での具体的な検討が行われる予定。
- (※) この他、無線ブロードバンドシステム等、様々なシステムも検討されている。

エリア放送型システム

(地域コミュニティ向け情報)



(災害、防災、被災地情報)



(商店街)



(交通機関)



特定ラジオマイク

送信機(ハンド型)



可搬型受信機



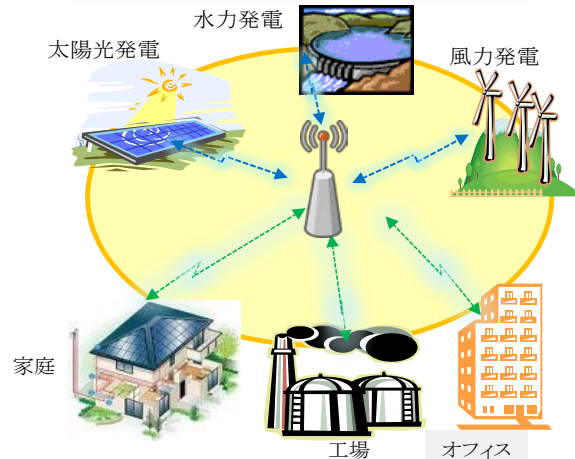
送信機(ピンマイク型)



カメラレコーダ装着例

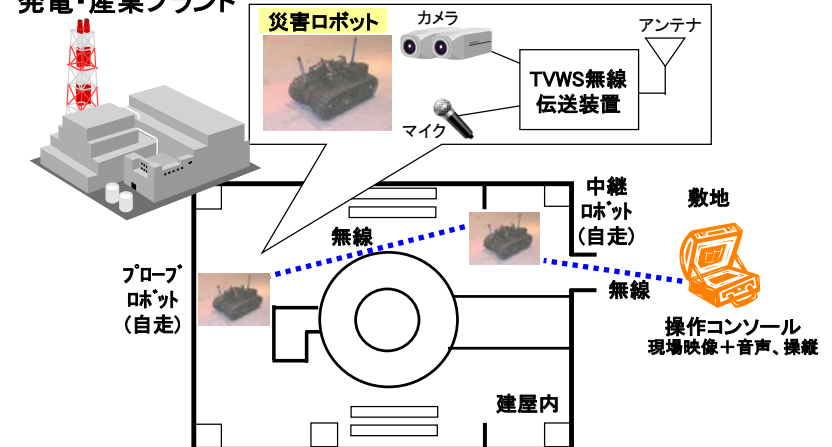


センサーネットワーク



災害向け通信システム

発電・産業プラント



今後のエリア放送に関する検討スケジュール(予定)

